

第44図 井戸3・4出土土器実測図（縮尺1/4）

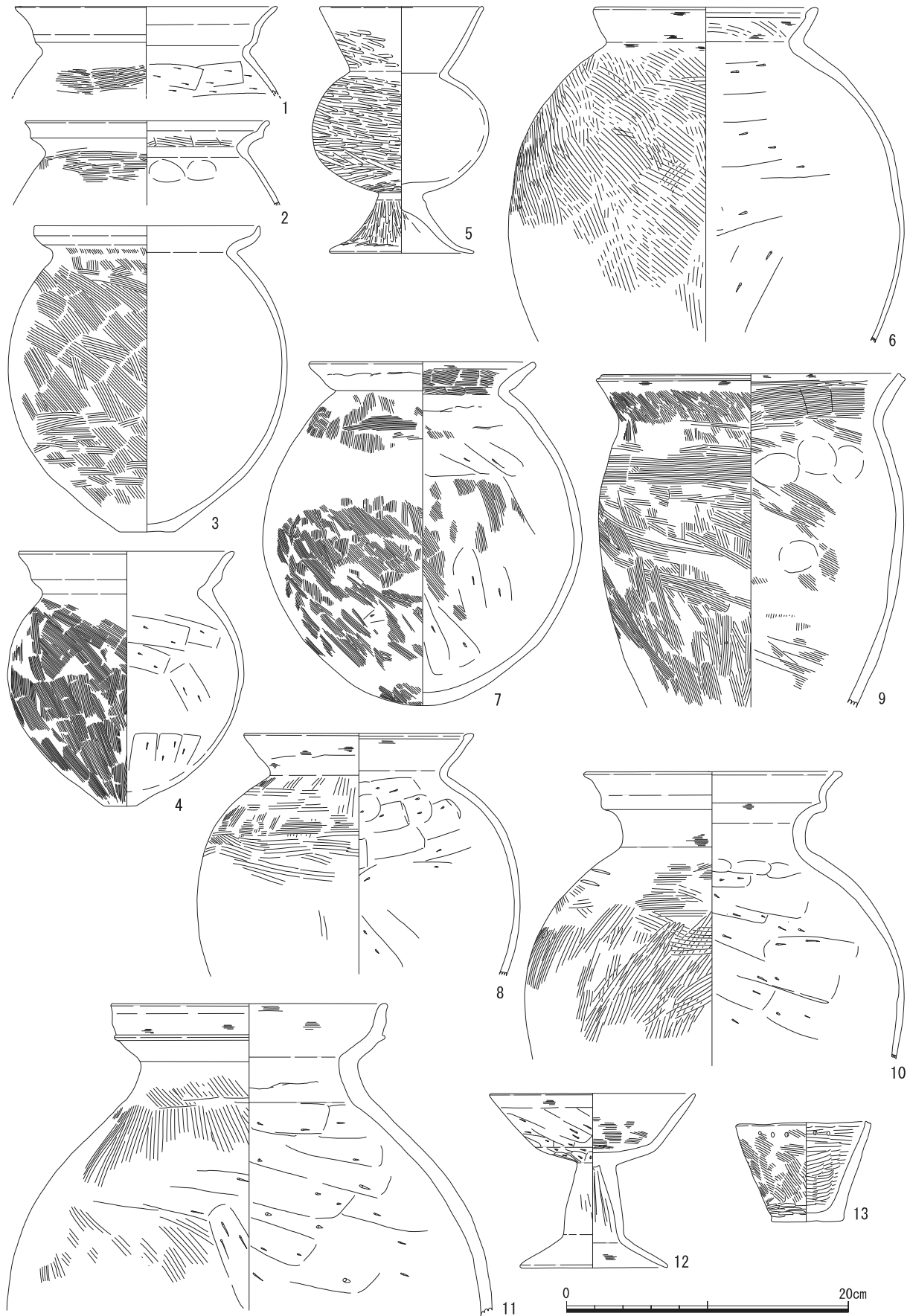
第45図1～5は溝45から出土した。1・4は有段口縁を持つ甕形土器である。口縁帯は外傾し、外側に開く。体部外面にハケ調整、内面にケズリ調整を施す。2は短い口縁帯を持つ甕形土器である。口縁帯が外傾し、外側に開く。体部の内外面にハケ調整を施し、頸部付近に指頭圧痕を残す。3は近江系の甕形土器である。口縁部は屈曲して直立し、短い口縁帯を持つ。端部は真上につまみ上げ、受け口状の断面を持つ。体部外面にハケ調整を施す。5は台付壺である。口縁部・体部・脚部とも、外面にミガキ調整を施す。内面にケズリ調整を施すが、口縁部内面にはミガキ調整も見られる。口縁部は若干内彎し、端を丸くおさめている。

同図6～13は大溝1から出土した。6・8は布留系の甕形土器である。口縁部は屈曲し、端部は内側に肥厚する。体部外面にハケ調整、内面にケズリ調整を施すが、口縁部の内面にハケ調整を残す。7は「く」の字形口縁を持つ甕形土器である。体部外面にハケ調整、内面にケズリ調整と一部ハケ調整、口縁部内面にハケ調整を施す。9は甕形土器である。体部の内外面にハケ調整を施す。頸部内面と体部内面中央に指頭圧痕が見られる。口縁部はあまり屈曲せずに広がり、内外面にハケ調整を施す。底部は残っていないが、体部最大径は体部の上半部のほぼ中央にあり、比較的長胴である。弥生時代中期の所産と見られる。10は二重口縁を持つ壺形土器である。若干の受部を持ち、外反する口縁帯を付加する。口縁帯下端は器壁に対して垂直に突出している。体部外面にハケ調整、内面にケズリ調整を施す。11は山陰系の壺形土器である。口縁帯下端に突出部を持つ。体部外面にはハケ調整後にケズリ調整、内面にはケズリ調整を施す。12は高坏形土器である。坏部外面にケズリ調整を施し、口縁端部外面にハケ調整を残す。坏部と裾部の内面にもハケ調整が見られる。脚部内面はケズリ調整を施す。坏部は底部から屈曲して直線的に伸び、端部で丸くおさめる。脚部は坏部底部から開き気味に伸び、屈曲して直線的に伸び、端部で丸くおさまり、裾部を造る。13は平底の鉢形土器である。体部の外面にハケ調整を施すが、底部周辺のみミガキ調整を施す。体部の内面にハケ調整を施す。口縁部の下に横並び等間隔で3つ、その対面に同じく横並び等間隔で2つ、合計5つの穿孔を施す。

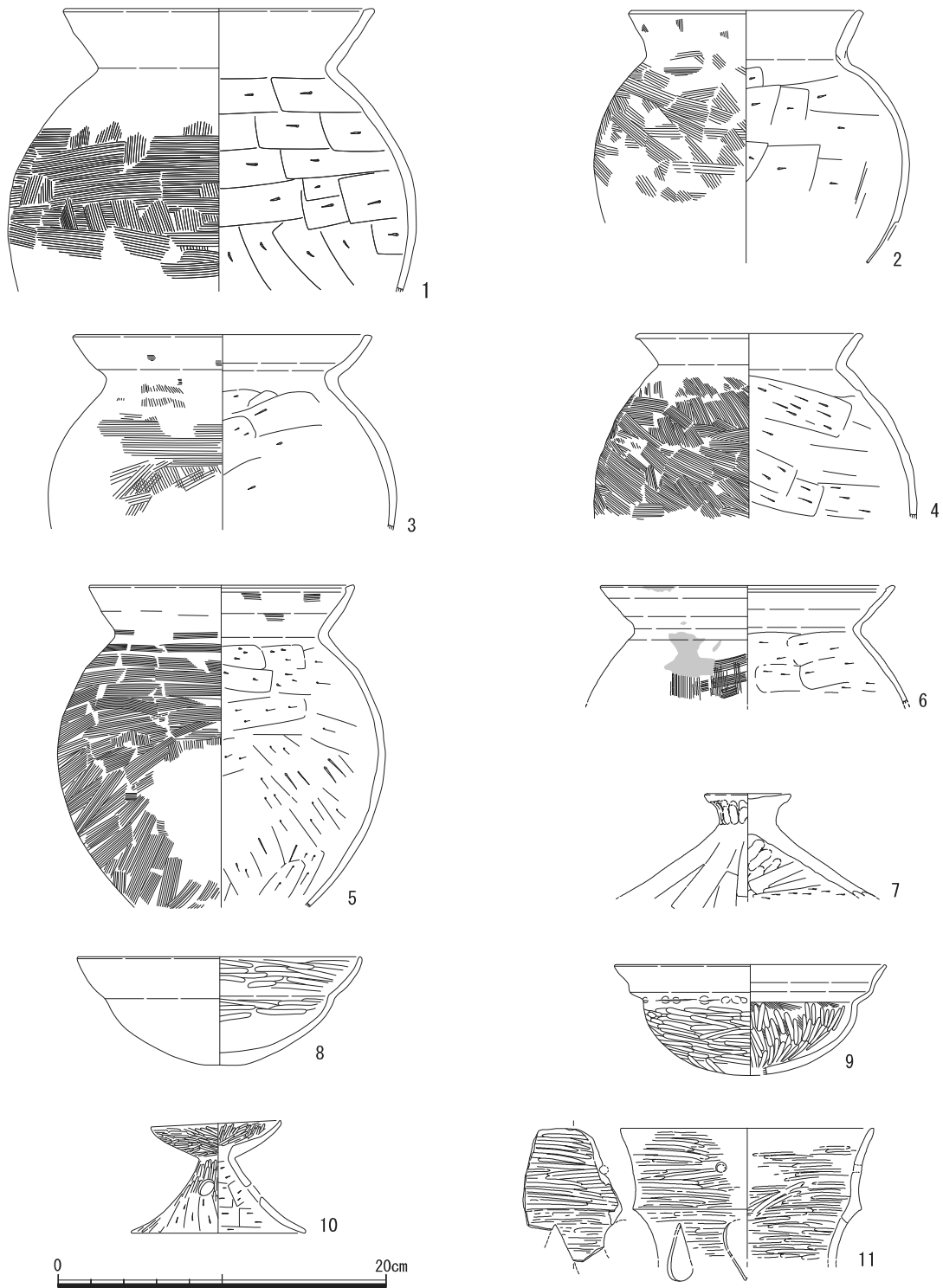
第46図1～11はE11区土器集中地点より出土した。これは前章で述べたように、土器集中出土状況を遺構（土坑111）と想定して調査したが、結果として遺構の形状を確定できなかったものである。厳密に言えば、遺構遺物と呼ぶには語弊があるが、基本的には包含層中で完結した遺構と推測されることや、各遺物の内容からもある程度の一括性はうかがえることから、本項で遺構遺物として掲載する。

1～6は布留系の甕形土器である。口縁部は屈曲し、端部は内側に肥厚する。体部外面にハケ調整、内面にケズリ調整を施す。7は蓋形土器である。外面にナデ調整、内面にケズリ調整を施す。つまみ部は指で押さえる。8・9は鉢形土器である。8の体部外面にケズリ調整、内面に横方向のミガキ調整、口縁部付近に一部ミガキ調整を施す。9の体部外面にはミガキ調整、内面にはハケ調整後にミガキ調整を施す。頸部に指頭圧痕が認められ、口縁端部は外側から面取りされている。10は器台形土器である。受部の内外面にミガキ調整、脚部上半にミガキ調整、内面にケズリ調整を施す。脚部の三方向に円孔を施す。口縁部は端部で立ち上がり、側面から面取りされたと思われる。11は装飾器台形土器の口縁部である。内外面にミガキ調整、小孔と上下交互に連続する水滴状の透かしを施す。

第47図1～8は土坑31から出土した。1～7は有段口縁を持つ甕形土器である。口縁帯にはナデ調整後に6～8条の擬凹線を施すが、6の口縁帯には施されない。基本的に体部は外面にハケ調整、内面にケズリ調整を施す。1の口縁帯内面に連続指頭圧痕を残す。8は有段口縁を持つ鉢形土器である。口縁帯に擬凹線は施されず、全てナデ調整である。

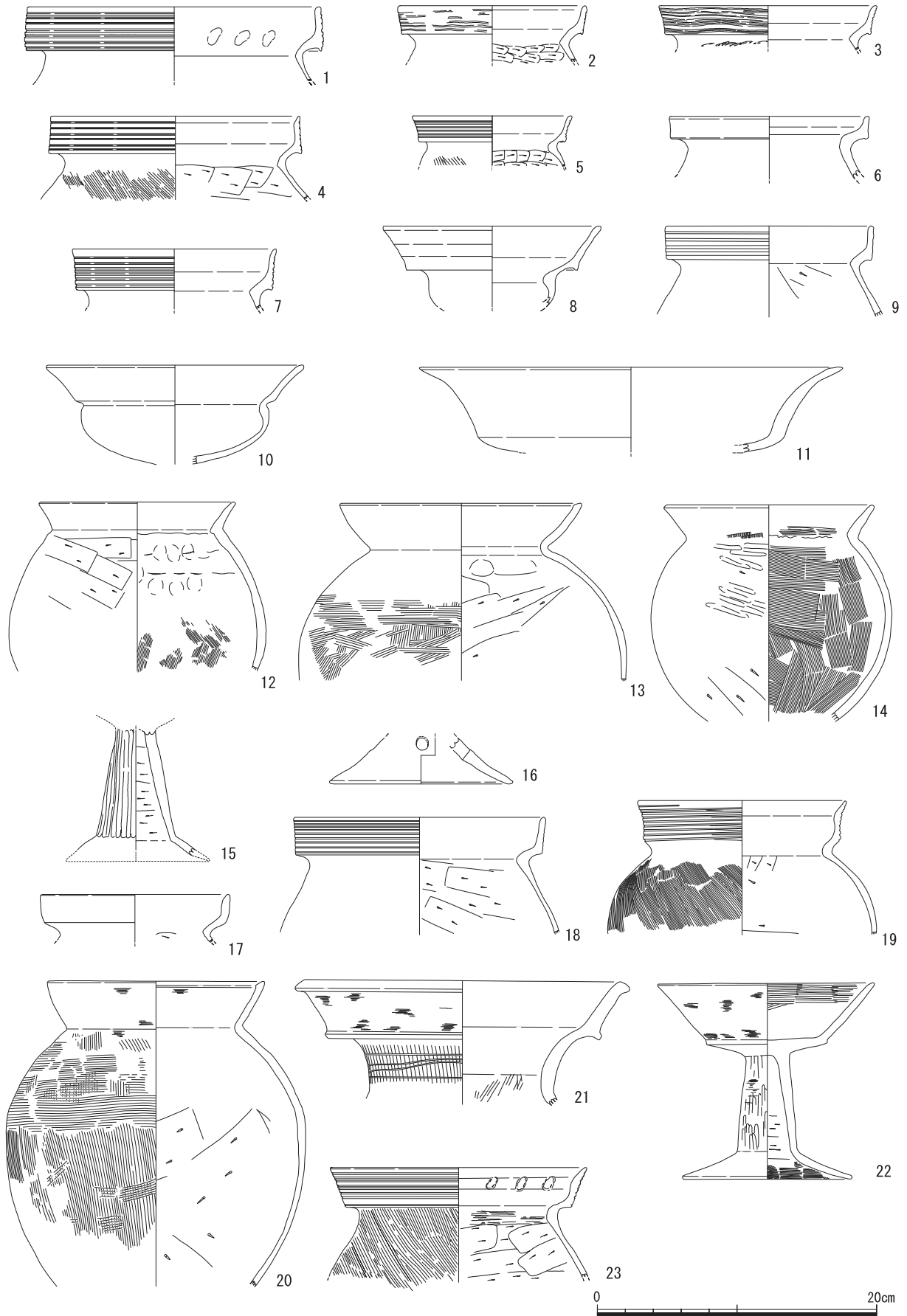


第45図 溝出土土器実測図（縮尺1/4）



第46図 E11区土器集中地点出土土器実測図（縮尺1/4）

第1節 土器



第47図 土坑出土土器実測図（縮尺1/4）

同図9・10は土坑91から出土した。9は有段口縁を持つ甕形土器である。口縁帯はナデ調整後に4条の擬凹線を施す。体部外面の調整は不明であるが、内面はケズリ調整を施す。10は鉢形土器である。調整は摩滅のため不明である。

同図11は土坑163から出土した。高坏形土器の坏部である。調整は摩滅のため不明である。

同図12~14は土坑186から出土した。12・14は「く」の字形口縁を持つ甕形土器である。12は体部外面にケズリ調整を施し、一部にミガキ調整が残る。体部内面は下半部に縦のハケ調整を残し、上半部に輪積み痕と、輪積み痕を消すように指頭圧痕も残す。14の外面調整は12とほぼ同じであるが、ミガキ調整を明確に残す。また、内面は頸部までハケ調整を施す。13は布留系の甕形土器である。口縁部は内彎し、端部で内側に肥厚させ、内上方に面を持たせる。体部の外面上半部に横ハケ調整、下半部に縦ハケ調整を施し、体部内面にケズリ調整を施す。また、頸部内面の下方には指圧痕を残す。

同図15・16は土坑190から出土した。15は高坏形土器の脚部である。外面にミガキ調整、内面にケズリ調整を施す。16は高坏もしくは器台形土器の脚部と見られる。三方に円孔を施す。

同図17~19は土坑204から出土した。有段口縁を持つ甕形土器である。18・19の口縁帯はナデ調整後に9条の擬凹線を施す。体部の外面調整は、19にハケ調整が残るが、あとは不明である。内面調整は3点ともケズリ調整を施す。

同図20~22は土坑250から出土した。20は布留系の甕形土器である。体部外面は上半部に横ハケ調整、下半部に縦ハケ調整、体部内面にケズリ調整を施す。口縁部は内彎し、端部で内側に肥厚させ、内上方に面を持たせる。21は二重口縁を持つ壺形土器の口縁部および頸部である。口縁帯が外反して、端部に面を持つ。口縁帯下端は垂下させる。外面調整は、口縁部にナデ調整、頸部に縦ハケ調整を施す。内面はナデ調整であるが、一部にハケ調整の痕跡を残す。また、頸部外面に4条の沈線を施す。22は高坏形土器である。坏部は底部に一段を造り、そこから屈曲させて直線的に伸び、口縁端部を丸くおさめる。外面にナデ調整、内面に横ハケ調整を施す。脚部は長い上半部を持ち、裾部は若干外反しながら、大きく伸びる。脚部外面上半部にミガキ調整、裾部内面にハケ調整を施す。

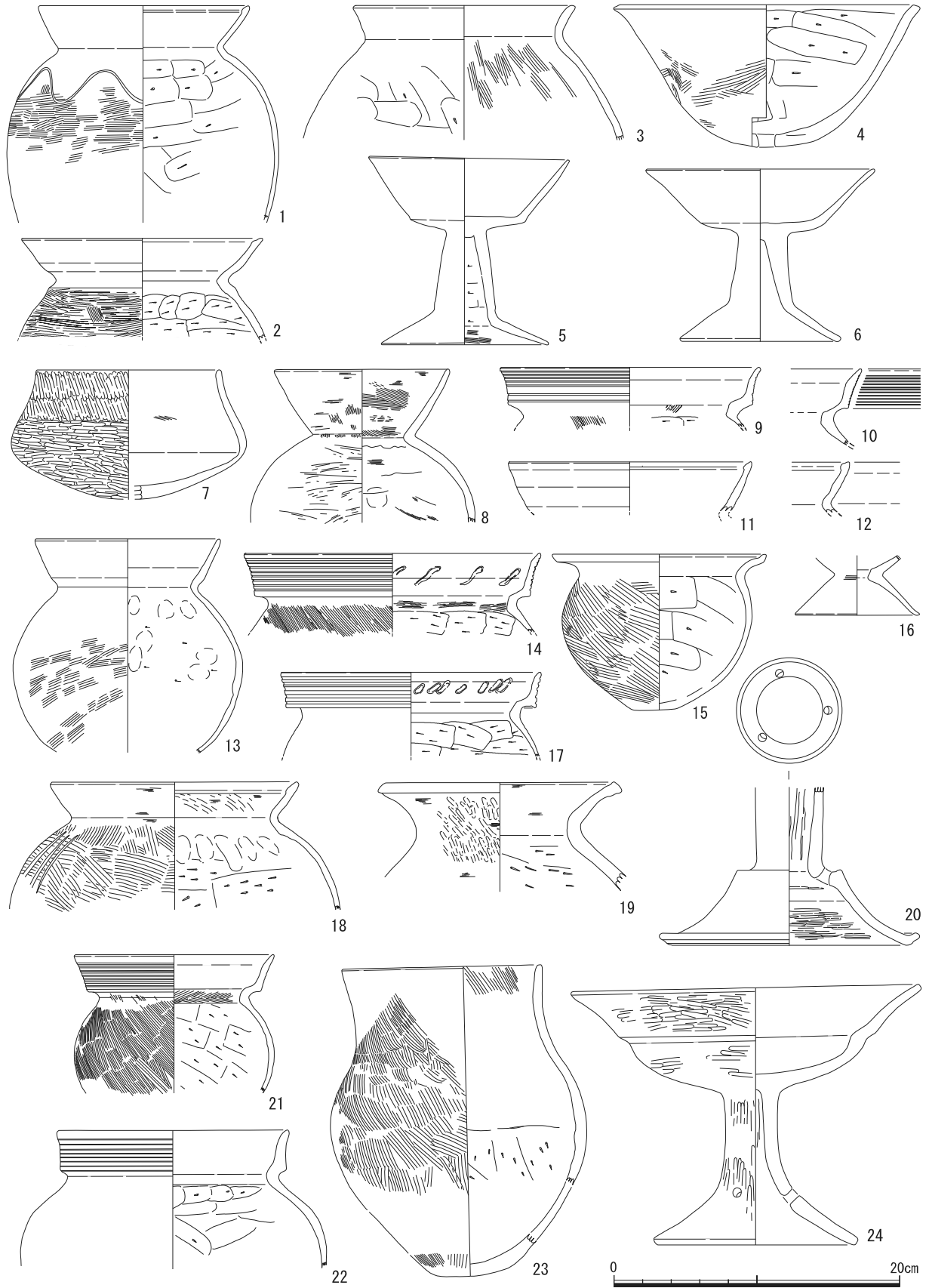
同図23は土坑258から出土した。有段口縁を持つ甕形土器である。口縁帯はナデ調整後に8条の擬凹線を施す。体部外面にハケ調整、内面はハケ調整後にケズリ調整を施し、頸部にケズリ残しが見られる。口縁帯内面に連続の指頭圧痕を残す。

第48図1~6は土坑147から出土した。1・2は布留系の甕形土器である。口縁部は若干内彎し、端部で内側に肥厚する。体部外面にハケ調整、内面にケズリ調整を施す。1の肩部に櫛描の波状文を施す。3は「く」の字形口縁を持つ甕形土器である。口縁部は若干外反し、端部で丸くおさめる。体部の外面にケズリ調整、内面にハケ調整を施す。4は鉢形土器である。外面にハケ調整、内面にケズリ調整を施す。底部に穿孔が見られる。5・6は高坏形土器である。外面にナデ調整、内面は脚部にケズリ調整、裾部にハケ調整を施す。

同図7は土坑266から出土した。埴形の高坏形土器の坏部である。外面にミガキ調整、内面にナデ調整を施す。

同図8は土坑298・299から出土した。壺形土器である。口縁部は長く、内彎ぎみに伸びる。内外面ともハケ調整を施し、体部内面に指頭圧痕を残す。

第1節 土器



第48図 土坑・ピット出土土器実測図（縮尺1/4）

同図9は土坑299から出土した。有段口縁を持つ甕形土器の口縁部である。口縁帯はナデ調整後に7条の擬凹線を施す。体部外面にハケ調整、内面にはハケ調整後にケズリ調整を施すが、ハケのケズリ残しも見られる。

同図10は土坑423から出土した。有段口縁を持つ甕形土器の口縁部である。口縁帯はナデ調整後に7条の擬凹線を施す。

同図11～16は土坑425から出土した。11・12は布留系の甕形土器の口縁部である。口縁部は若干内彎し、端部で内側に肥厚する。13は直口の壺形土器である。口縁部は直線的に広がりながら伸びる。体部外面にハケ調整を施し、内面に指頭圧痕を残す。14は有段口縁を持つ甕形土器である。口縁帯にはナデ調整後に8条の擬凹線を施す。体部外面にハケ調整、内面にはハケ調整後にケズリ調整を施し、頸部内面にハケ調整のケズリ残しが見られる。口縁部内面に連続する指頭圧痕を残す。15は鉢形土器である。口縁部断面は受け口状を呈する。体部外面にハケ調整、内面にケズリ調整を施す。16は器台形土器である。内外面ともハケ調整を施す。

同図17は住居1土坑から出土した。有段口縁を持つ甕形土器である。口縁帯はナデ調整後に5条の擬凹線を施す。体部外面にハケ調整、内面にはハケ調整後にケズリ調整を施し、頸部にハケのケズリ残しが見られる。

同図18は土坑402から出土した。布留系の甕形土器である。口縁部は若干内彎し、端部で内側に肥厚する。外面にハケ調整、内面は口縁部にはハケ調整後にナデ調整、体部にケズリ調整を施す。頸部付近に指頭圧痕を残す。

同図19・20は土坑187から出土した。19は壺形土器である。口縁部は屈曲し、外傾しながら伸び、端部は外上方に面を持つ。外面にミガキ調整を施すが、ハケ調整も若干残る。内面は口縁部にハケ調整、体部にケズリ調整を施す。20は器台形土器の脚部と見られる。裾部は上面3ヶ所に円孔、内面にミガキ調整を施す。

同図21・22はp441から出土した。有段口縁を持つ甕形土器である。口縁帯はナデ調整後に8条の擬凹線を施す。体部の調整は、21は外面にハケ調整、内面はハケ調整後にケズリ調整を施し、頸部にケズリ残しが見られる。22は内面にケズリ調整を施す。

同図23はp663から出土した。壺形土器である。偏球胴を呈する。外面にハケ調整、内面は口縁部付近にハケ調整、体部にケズリ調整を施す。

同図24はp994から出土した。高坏形土器である。外面はミガキ調整、裾部3ヶ所に円孔を施す。

II 包含層出土土器

第49図1～3は布留系の甕形土器である。口縁部は屈曲し、若干内彎して伸び、端部で内側に肥厚する。体部外面にハケ調整、内面にケズリ調整を施す。3は肩部に櫛描の波状文を施す。

同図4・6は「く」の字形口縁を持つ甕形土器である。4の口縁部は屈曲し、外反して伸び、端部は外側上方に面を持つ。6の口縁部は屈曲し、外傾して伸び、端部を丸くおさめる。体部調整は、4は外面にケズリ調整、内面にハケ調整、6は外面にハケ調整、内面にケズリ調整をそれぞれ施す。

同図5は有段口縁を持つ甕形土器である。口縁帯に擬凹線は見られず、ナデ調整のみ施す。体部外面にハケ調整、内面にケズリ調整を施す。

同図7は甕形土器である。形態は布留系の甕に酷似する。口縁は屈曲し、内彎ぎみに伸び、端部を内

側に肥厚する。外面はハケ調整後、肩部周辺に格子状のタタキ目を施す。内面にはケズリ調整を施す。焼成前に施されたと見られる四角い穿孔を肩部に残す。韓式系土器と推測される¹。

第50図1・5は布留系の甕形土器である。口縁部は屈曲し、外傾して伸び、端部内側に肥厚する。外面にハケ調整、内面にケズリ調整を施す。

同図2は近江系の甕形土器である。口縁部は屈曲して直立し、短い口縁帯を持つ。端部は真上につまみ上げ、受け口状の断面を持つ。体部外面にハケ調整、内面にケズリ調整を施す。

同図3・4は有段口縁を持つ甕形土器である。口縁帯中央にナデ調整を強く施す。外面にはハケ調整、内面にはハケ調整後にケズリ調整を施す。頸部にケズリ残しが見られる。

同図6は壺形土器の体部である。外面にハケ調整、内面にケズリ調整を施す。

同図7は壺形土器である。口縁帯下端部が突出し、口縁部先端で若干外反する。体部外面には縦と斜方向のハケ調整、内面にケズリ調整を施し、肩部外面に波状文を刻む。山陰系土器と推定される。

同図8～13は小型の壺形土器である。いずれも底部は丸底、もしくはそれと考えられる。基本的に外面にはハケ調整、内面にはケズリ調整を施すが、8は外面にケズリ調整、13は外面にミガキ調整、内面にハケ調整を施す。また、9の肩部は櫛描の円文を施し、13の底部は穿孔される。

同図14は壺形土器の口縁部である。長く内彎して伸び、端部は内側上方に面を持つ。外面はミガキ調整後に18条の擬凹線を施し、内面にもミガキ調整を施す。

第51図1～3は高坏形土器である。3の坏部の立ち上がりには明確な段が見られる。2・3の坏部内面にはハケ調整を施す。

同図4・5は蓋形土器である。4は外面にミガキ調整を施し、つまみ部と内面に指頭圧痕を残す。

同図6～13は器台形土器である。6・7は有段の棒状脚の器台である。また、7・11～13は脚部に円孔を施す。外面調整は基本的にミガキ調整で、内面調整は、7・13はハケ調整、8はケズリ調整、9・10はミガキ調整、12はハケ調整後にミガキ調整を施す。

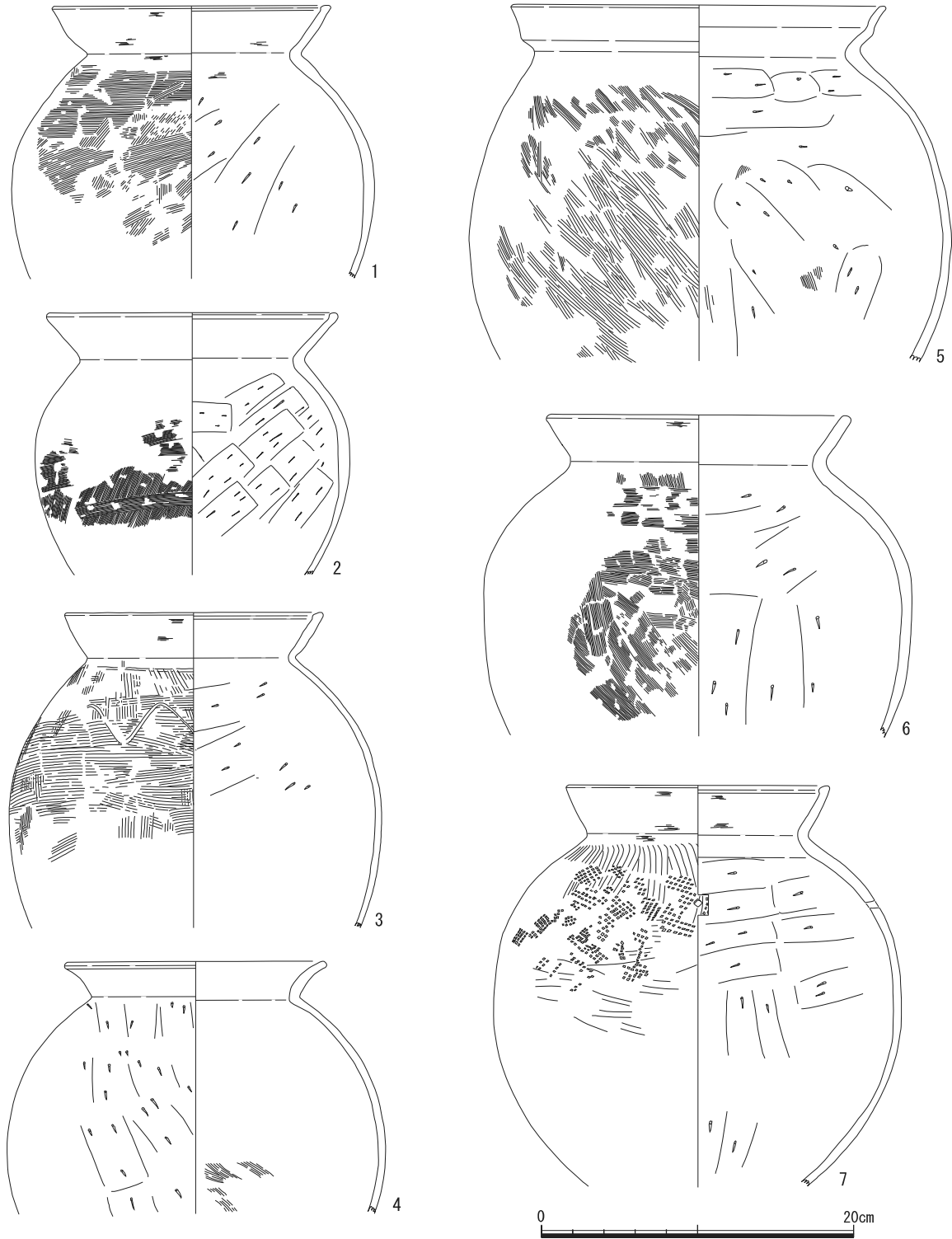
同図14～18は鉢形土器である。14の底部には穿孔が見られる。内外面ともハケ調整を施す。15・16は台付の鉢形土器である。16の内面には指頭圧痕が残る。17・18は小型丸底の鉢である。外傾して長く伸びる口縁部を持つ。18の外面にはハケ調整、内面には口縁部にハケ調整、鉢部にミガキ調整をそれぞれ施す。

同図19は装飾を持つ大型壺の口縁部である。二重口縁の上段口縁帯に、縦に2列（合計8～10点）の竹管文が、およそ8cm間隔で巡る。ハケ調整の痕跡が若干残る。

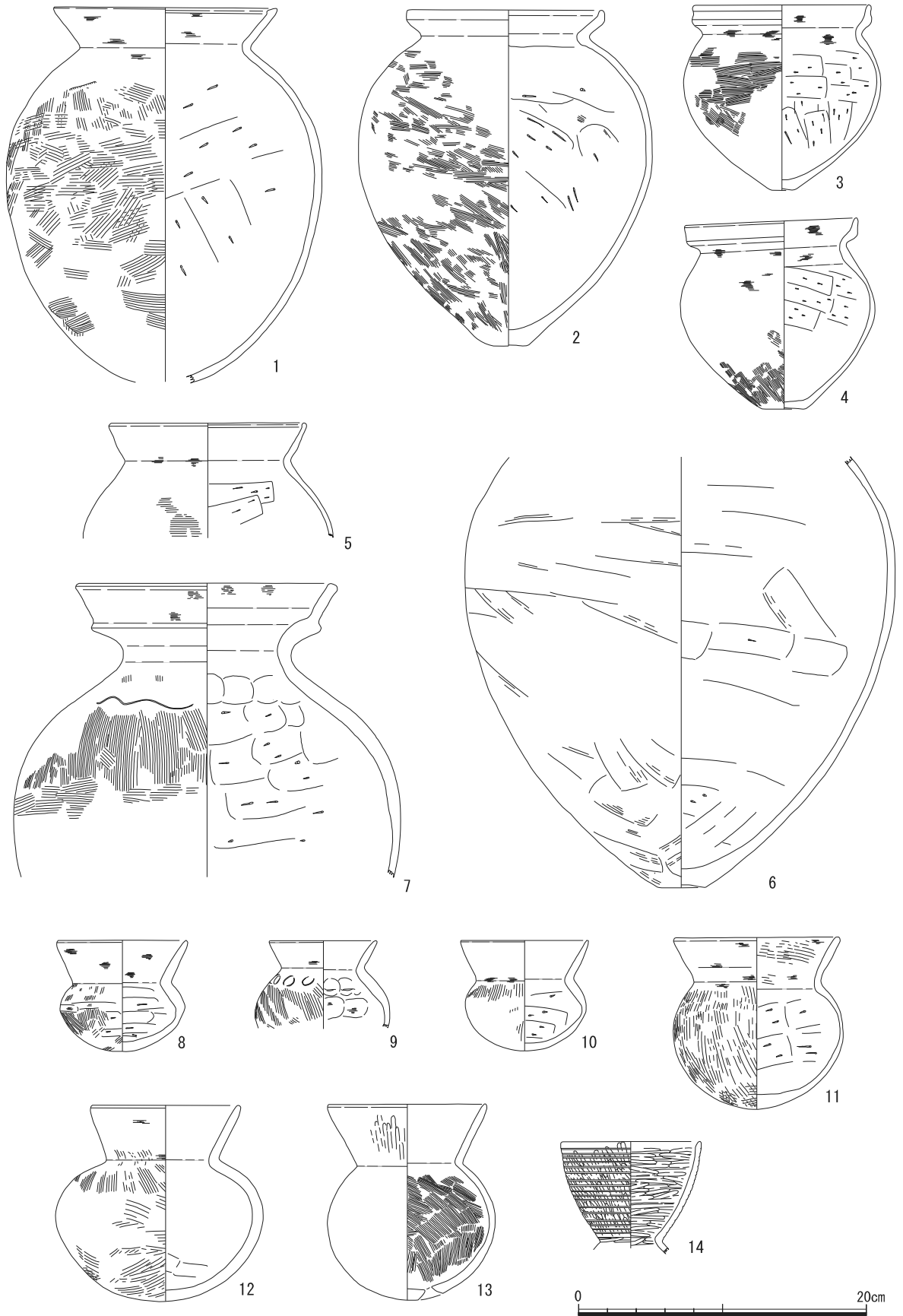
同図20・21はミニチュア土器である。

註

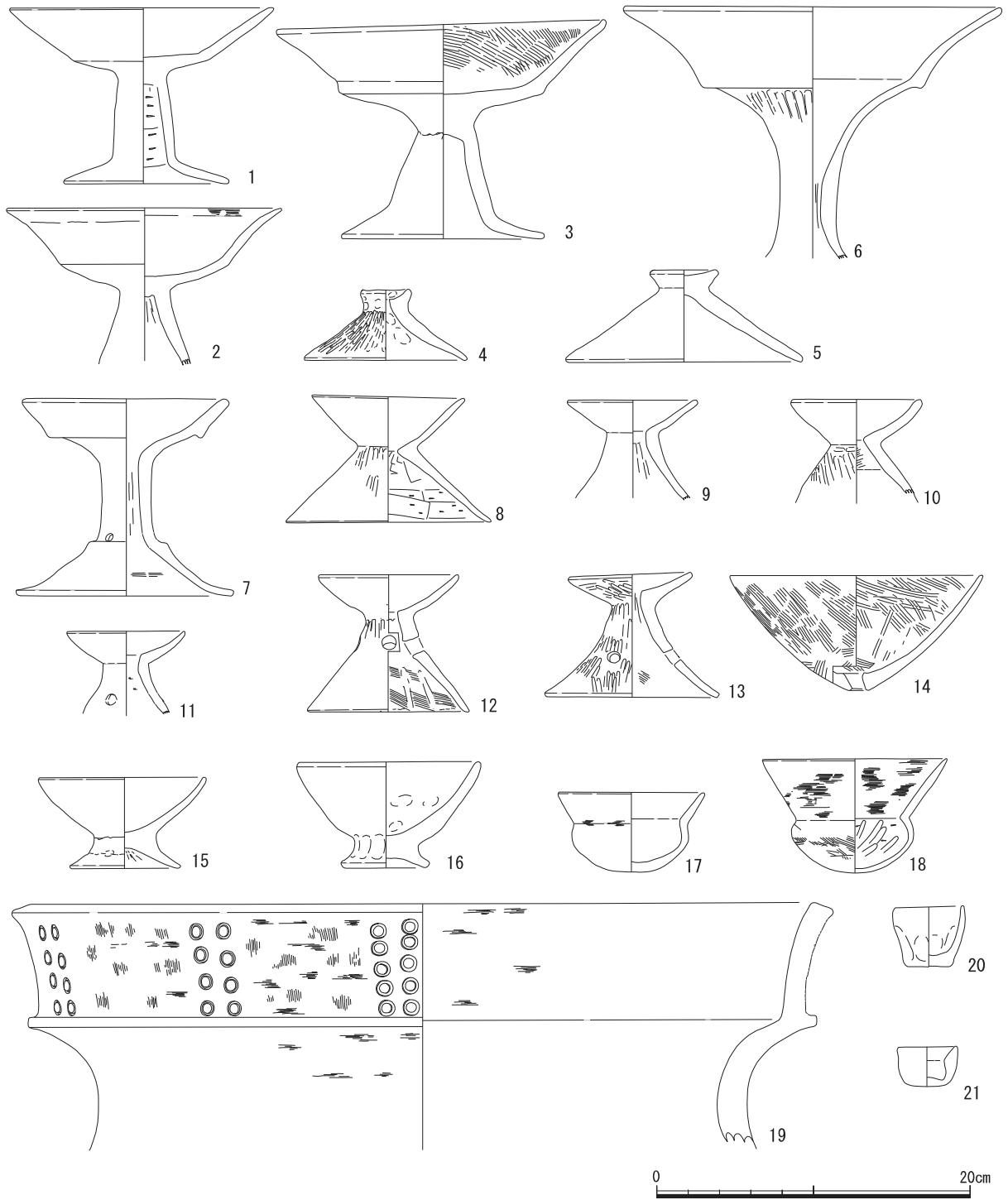
1 この資料は、川本紀子氏によりすでに紹介されている（川本紀子 2003 「越前・若狭における韓半島系土器の一様相」『北陸古代土器研究』第10号 北陸古代土器研究会 129～135頁）が、氏の記述内容と本書の内容との間に齟齬があっても、本書は氏の見解を直ちに訂正するものではない。



第49図 包含層出土土器実測図 (1) (縮尺1/4)



第50図 包含層出土土器実測図(2) (縮尺1/4)



第51図 包含層出土土器実測図(3) (縮尺1/40)

第1節 土器

第5表 土器観察表（口径・底径・器高はcm、カッコ付の数値は復元値もしくは残存値）

挿図№	器種	地区	遺構名	口径	底径	器高	調整	胎土	色調	焼成	残存率	備考
第43図1	甕	G11	周溝墓1 周溝4	(16.4)	-	(5.1)	外)口縁部コナデの後クシガキ 体部ハケ 内)口縁部コナデ、指オサエ 体部ケズリ	長石・石英・クサリ礫	10YR7/3 にぶい黄橙	良好	口縁部 33%	擬凹線6条
第43図2	甕	E5	建物14 布掘2	(16.0)	-	(6.3)	外)口縁部コナデの後クシガキ 体部ハケ 内)口縁部コナデ 体部ケズリ	長石・雲母・クサリ礫	10YR8/4 浅黄橙	良好	口縁部 10%	擬凹線不明瞭
第43図3	甕	E5	建物14 布掘2	(17.8)	-	(7.2)	外)口縁部コナデの後クシガキ 体部ハケ 内)口縁部コナデ、指オサエ 体部ケズリ	長石・雲母・クサリ礫	10YR8/4 浅黄橙	良好	口縁部 10%	擬凹線10条
第43図4	甕	E5	建物14 布掘2	(15.2)	-	(4.3)	外)口縁部コナデの後クシガキ 体部ハケ 内)口縁部コナデ 体部ケズリ	長石・雲母・石英・クサリ 礫	10YR7/4 にぶい黄橙	良好	口縁部 20%	擬凹線9条
第43図5	甕	E5	建物14 布掘2	-	3.2	(5.8)	外)体部ハケ 内)体部ケズリ	長石・雲母・クサリ礫	10YR7/4 にぶい黄橙	良好	底部の み	
第43図6	甕	E5	建物14 布掘2	-	1.8	(7.7)	外)体部板ナデ 内)体部板ナデ	長石・カクセン・クサリ礫	10YR7/4 にぶい黄橙	良好	底部の み	
第43図7	壺	L24	建物23 布掘1	13.4	-	(5.6)	外)ハケ 擬凹線 内)ケズリ	密 砂粒多く含む	7.5YR8/4 浅黄橙	良好	10%	擬凹線7条
第44図1	甕	F7	井戸3	-	2.8	20.0	外)ハケ、沈線	密 1~2mm砂粒含む	10YR7/3 にぶい黄橙	やや軟	40%	擬凹線9条
第44図2	甕	F7	井戸3	16.0	(4.0)	18.9	外)ハケ、ケズリ 内)ハケ、ケズリ、指圧痕	密 1mm大の砂粒含む	7.5YR8/4 浅黄橙	良好	85%	
第44図3	甕	F7	井戸3	13.4	-	(11.6)	外)ハケ、擬凹線 内)ケズリ	密 砂粒含む	7.5YR8/4 浅黄橙	良好	30%	擬凹線6条
第44図4	甕	F7	井戸3	10.6	2.1	15.7	外)ハケ	密	7.5YR8/4 浅黄橙	良好	60%	
第44図5	壺	F7	井戸3	18.2	-	32.5	外)ハケ 内)ハケ	密	7.5YR8/4 浅黄橙	良好	75%	
第44図6	甕	F4	井戸4	15.4	-	(15.0)	外)ハケ 内)ケズリ	密 砂粒含む	7.5YR7/4 にぶい黄橙	良好	40%	
第44図7	甕	F4	井戸4	(15.0)	-	(12.5)	外)ハケ 内)ケズリ	密 砂粒含む	7.5YR6/6 橙	良好	20%	
第44図8	甕	F4	井戸4	17.4	-	(11.1)	外)ハケ 内)ケズリ	密 砂粒含む	5YR7/8 橙	良好	15%	
第44図9	甕	F4	井戸4	(14.0)	-	(14.8)	外)ハケ 内)ケズリ	密 砂粒含む	5YR7/6 橙	良好	40%	
第44図10	甕	F4	井戸4	(15.4)	-	(10.2)	外)ハケ 内)ケズリ	密 砂粒含む	7.5YR8/4 浅黄橙	良好	20%	
第44図11	甕	F4	井戸4	(15.4)	-	(10.5)	内)ケズリ 指圧痕	密 砂粒含む	7.5YR8/4 浅黄橙	良好	20%	
第44図12	器台	F4	井戸4	9.2	(13.0)	9.4	外)ミガキ 内)ハケ	密	5YR7/6 橙	良好	65%	
第44図13	二重口縁 壺	D5	井戸4	19.6	-	(5.2)	外)波状文 浮文 内)ハケ	密 砂粒含む	7.5YR8/8 黄橙	良好		
第45図1	甕	F3	溝45	(18.6)	-	(6.3)	外)口縁部コナデ 体部ハケ 内)口縁部コナデ 体部ケズリ	長石・雲母・クサリ礫	2.5Y2/1 黒色	良好	口縁部 16%	
第45図2	甕	F3・5	溝45	17.0	-	(6.0)	外)ハケ 内)ハケ、指圧痕	密	7.5YR8/6 浅黄橙	良好	10%	
第45図3	甕	F3	溝45	15.9	4.0	(21.8)	外)ハケ	密	7.5YR7/6 橙	良好	25%	外面スス付着
第45図4	甕	F2・3	溝45	15.3	2.3	18.1	外)ハケ 内)ケズリ	密 砂粒含む	10YR8/4 浅黄橙	良好	85%	
第45図5	台付壺	F3	溝45	(11.6)	10.1	17.5	外)ミガキ	密 1mm大の砂粒多く含 む	5YR7/8 橙	良好	85%	
第45図6	甕	C4	大溝1	15.6	-	(23.8)	外)ハケ 内)ハケ ケズリ	密	10YR7/4 にぶい黄橙	良好	50%	
第45図7	甕	F4	大溝1	(15.8)	-	(24.4)	外)ハケ 内)ハケ、ケズリ	密	10YR7/3 にぶい黄橙	良好	50%	
第45図8	甕	F3	大溝1	(16.0)	-	-	外)ハケ 内)ケズリ	密	7.5YR7/6 橙	良好	10%	
第45図9	甕	D-E3	大溝1	(21.0)	-	(23.7)	外)ハケ 内)ハケ、指圧痕	密	10YR7/3 にぶい黄橙	良好	60%	
第45図10	二重口縁 壺	B1	大溝1	18.0	-	(20.5)	外)ハケ 内)ケズリ	密 砂粒含む	7.5YR8/6 浅黄橙	良好	35%	
第45図11	壺	F2	大溝1	(19.4)	-	(21.8)	外)ハケ、ケズリ 内)ハケ、ケズリ	密 砂粒多く含む	10YR8/4 浅黄橙	良好	20%	
第45図12	高坏	D3	大溝1	14.4	-	12.4	外)ケズリ、ハケ 内)ハケ	密 砂粒含む	7.5YR8/4 浅黄橙	良好	75%	
第45図13	平底鉢	D4	大溝1	9.4	4.9	7.2	外)ハケ、ミガキ 内)ハケ	密	10YR6/3 にぶい黄橙	良好	100%	穿孔有り
第46図1	甕	E11	土器集中 (土坑111)	18.6	-	(17.3)	外)ハケ 内)ケズリ	密 砂粒含む	10YR8/3 浅黄橙	良好	40%	外面スス付着
第46図2	甕	E11	土器集中 (土坑111)	14.0	-	(15.4)	外)ハケ 内)ケズリ ハケ	密 1~2mm砂粒含む	7.5YR6/3 にぶい黄橙	やや軟	70%	
第46図3	甕	E11	土器集中 (土坑111)	(17.8)	-	(12.5)	外)ハケ 内)ケズリ	密	7.5YR6/6 橙	良好	10%	
第46図4	甕	E11	土器集中 (土坑111)	13.6	-	(11.3)	外)ハケ 内)ケズリ	密	10YR6/3 にぶい黄橙	良好	50%	
第46図5	甕	E11	土器集中 (土坑111)	(16.0)	-	(19.6)	外)ハケ 内)ケズリ	密 砂粒多く含む	7.5YR8/8 黄橙	良好	20%	

第5章 遺物

挿図No.	器種	地区	遺構名	口径	底径	器高	調整	胎土	色調	焼成	残存率	備考
第46図6	甕	E11	土器集中 (土坑111)	(17.8)	-	(5.8)	外)口縁部:ヨコナデ 体部:ハケ 内)口縁部:ヨコナデ 体部:ケズリ	長石・雲母・クサリ礫	7.5YR6/4 にぶい、橙	良好	口縁部 16%	布留甕か
第46図7	蓋	E11	土器集中 (土坑111)	-	(5.0)	(6.3)	外)板ナデ 内)つまみ部:指オサエ 体部:板ケズリ	長石・雲母・クサリ礫	7.5YR6/4 にぶい、橙	良好	8%	
第46図8	鉢	E11	土器集中 (土坑111)	17.2	-	6.7	内)ミガキ	密	5YR7/6 橙	良好	70%	
第46図9	鉢	E11	土器集中 (土坑111)	16.4	-	6.9	外)ミガキ 内)ミガキ ハケ	密	5YR7/6 橙	良好	80%	
第46図10	器台	E11	土器集中 (土坑111)	7.9	10.6	6.9	外)ミガキ ケズリ 内)ミガキ ケズリ	密	5YR6/6 橙	良好	80%	
第46図11	裝飾器台	E11	土器集中 (土坑111)	(15.4)	-	(8.0)	外)ミガキ 内)ミガキ	長石・雲母・クサリ礫	5YR6/4 にぶい、橙	良好	口縁部 の一部	小孔と連続する涙滴状 の透かしを施す
第47図1	甕	G11	土坑31	(20.6)	-	(5.3)	外)口縁部:ヨコナデの後クシガキ 体部:不明 内)口縁部:ヨコナデ、指オサエ 体部:ケズリ	長石・石英・クサリ礫	10YR8/3 浅黄橙	良好	口縁部 10%	擬凹線7条
第47図2	甕	G11	土坑31	(13.2)	-	(4.0)	外)口縁部:ヨコナデの後クシガキ 体部:ハケ 内)口縁部:ヨコナデ 体部:ケズリ	長石・雲母・クサリ礫	10YR8/2 灰白色	良好	口縁部 10%	擬凹線6条
第47図3	甕	G11	土坑31	(15.4)	-	(3.0)	外)口縁部:ヨコナデの後クシガキ 体部:ハケ 内)口縁部:ヨコナデ 体部:ケズリ	長石・雲母・石英・クサリ 礫	10YR8/3 浅黄橙	良好	口縁部 12%	擬凹線8条
第47図4	甕	G11	土坑31	(17.6)	-	(5.8)	外)口縁部:ヨコナデの後クシガキ 体部:ハケ 内)口縁部:ヨコナデ 体部:ケズリ	長石・石英・クサリ礫	10YR8/3 浅黄橙	良好	口縁部 30%	擬凹線6条
第47図5	甕	G11	土坑31	(11.2)	-	(3.7)	外)口縁部:ヨコナデの後クシガキ 体部:ハケ 内)口縁部:ヨコナデ 体部:ケズリ	長石・石英・クサリ礫	10YR6/2 灰黄褐	良好	口縁部 10%	擬凹線6条
第47図6	甕	G11	土坑31	(14.0)	-	(4.0)	外)口縁部:ヨコナデ 体部:ナデ 内)口縁部:ヨコナデ 体部:ナデ	長石・雲母・石英	10YR7/3 にぶい、黄橙	良好	口縁部 16%	
第47図7	甕	G11	土坑31	(14.4)	-	(4.1)	外)口縁部:ヨコナデの後クシガキ 体部:ハケ 内)口縁部:ヨコナデ 体部:ケズリ	長石・雲母・石英・クサリ 礫	7.5YR6/3 にぶい、橙	良好	口縁部 12%	擬凹線6条
第47図8	鉢	G11	土坑31	(15.4)	-	(5.8)	外)口縁部:ヨコナデ 体部:ナデ 内)口縁部:ヨコナデ 体部:ナデ	長石・雲母・クサリ礫	10YR8/2 灰白色	良	口縁部 16%	
第47図9	甕	G・H9	土坑91	14.6	-	6.5	外)擬凹線 内)ケズリ	密 砂粒含む	7.5YR7/3 にぶい、橙	良好	20%	擬凹線4条、外面スス付 着
第47図10	鉢	G・H9	土坑91	(18.2)	-	(7.1)	摩擦の為調整不明	密 砂粒含む	7.5YR8/3 浅黄橙	良好	45%	
第47図11	高坏	G・H4	土坑163	(30.2)	-	(6.0)	外)不明瞭 内)不明瞭	長石・雲母・クサリ礫	7.5YR7/4 にぶい、橙	良好	坏部の 一部	
第47図12	甕	G・H3	土坑186	(14.0)	-	(12.1)	外)ケズリ ミガキ? 内)ハケ 指圧痕	密	10YR7/3 にぶい、黄橙	良好	30%	
第47図13	甕	G・H3	土坑186	17.0	-	(12.7)	外)ハケ 内)ケズリ 指圧痕	密	5YR7/6 橙	良好	25%	
第47図14	甕	G・H3	土坑186	14.6	-	(15.5)	外)ケズリ ミガキ ハケ 内)ハケ	密	7.5YR7/4 にぶい、橙	良好	60%	
第47図15	高杯	G3	土坑190	-	-	(8.5)	外)ミガキ 内)ケズリ	長石・石英・クサリ礫	5YR5/6 明赤褐	良好	脚部 67%	中空
第47図16	高杯	G3	土坑190	(13.0)	-	(3.3)	外)ナデ 内)板ナデ	長石・雲母・クサリ礫	10YR7/2 にぶい、黄橙	良好	脚部 20%	三方円孔有り
第47図17	甕	U9	土坑204	(13.4)	-	(3.3)	外)不明 内)口縁部:ヨコナデ 体部:ケズリ	長石・クサリ礫	5YR6/6 橙	良好	口縁部 20%	
第47図18	甕	D9	土坑204	18.0	-	(8.4)	外)擬凹線 内)ケズリ	密 砂粒含む	2.5YR8/1 灰白	良好	40%	擬凹線9条
第47図19	甕	D9	土坑204	14.8	-	(9.6)	外)ハケ 擬凹線 内)ケズリ	やが粗	7.5YR8/4 浅黄橙	良好	20%	擬凹線9条
第47図20	甕	D・E7	土坑250	15.4	-	(21.9)	外)ハケ 内)ケズリ	密 砂粒含む	5YR7/6 橙	良好	60%	
第47図21	二重口縁 壺	D・E7	土坑250	22.6	-	(8.9)	外)ハケ 内)ハケ	密 砂粒含む	7.5YR8/4 浅黄橙	良好	30%	
第47図22	高坏	D・E7	土坑250	15.5	(12.2)	14.1	外)ミガキ 内)ハケ	密	5YR6/6 橙	良好	90%	
第47図23	甕	C6	土坑258	(18.2)	-	(7.8)	外)口縁部:ヨコナデの後クシガキ 体部:ハケ 内)口縁部:ヨコナデ、指オサエ 体部:ケズリ	長石・石英・クサリ礫	10YR8/4 浅黄橙	良好	口縁部 10%	擬凹線8条
第48図1	甕	G6	土坑147	14.6	-	(15.2)	外)ハケ 波状文 内)ケズリ	密 砂粒含む	7.5YR8/4 浅黄橙	良好	30%	
第48図2	甕	G6	土坑147	(16.8)	-	(6.9)	外)口縁部:ヨコナデ 体部:ハケ 内)口縁部:ヨコナデ 体部:ケズリ	長石・雲母・石英・クサリ 礫	10YR7/3 にぶい、黄橙	良好	口縁部 8%	
第48図3	甕	G6	土坑147	15.0	-	(9.4)	外)ケズリ 内)ハケ	密	7.5YR8/4 浅黄橙	良好	20%	
第48図4	鉢	G6	土坑147	21.4	-	9.9	外)ハケ 内)ケズリ	密 1~2mm砂粒含む	10YR7/3 にぶい、黄橙	良好	90%	底部穿孔有り
第48図5	高坏	G6	土坑147	14.0	11.5	13.2	外)ナデ 脚部内)ケズリ ハケ	密 1~2mm砂粒含む	5YR7/8 橙	良好	80%	
第48図6	高坏	G6	土坑147	(15.8)	11.0	12.1	外)ナデ 脚部内)ヘラケズリ	密	7.5YR8/6 浅黄橙	良好	70%	
第48図7	埴形高坏	G99	土坑266	(12.8)	-	(9.05)	外)ミガキ 内)ハケ	密 砂粒含む	7.5YR7/6 橙	良好	20%	
第48図8	壺	C4	土坑298・ 299	12.1	-	10.7	外)ハケ 内)ハケ 指圧痕	密	7.5YR7/6 橙	良好	50%	
第48図9	甕	C4	土坑299	(18.0)	-	(4.1)	外)口縁部:ヨコナデの後クシガキ 体部:ハケ 内)口縁部:ヨコナデ 体部:ケズリ	長石・雲母・クサリ礫	7.5YR7/4 にぶい、橙	良好	口縁部 の一部	擬凹線7条
第48図10	甕	F3	土坑423	-	-	(5.1)	外)不明瞭 内)不明瞭	長石・石英・クサリ礫	10YR7/4 にぶい、黄橙	良好	口縁部 の一部	擬凹線7条

第1節 土器

挿図No	器種	地区	遺構名	口径	底径	器高	調整	胎土	色調	焼成	残存率	備考
第48図11	甕	F3	土坑425	(16.8)	-	(3.4)	外)口縁部:ヨコナデ 内)口縁部:ヨコナデ	長石・石英・クサリ礫	10YR7/3 にぶい、黄橙	良好	口縁部 の一部	布留甕か
第48図12	甕	F3	土坑425	-	-	(3.4)	外)不明瞭 内)不明瞭	長石・雲母・クサリ礫	7.5YR7/6 橙	良好	口縁部 の一部	布留甕か
第48図13	壺	F3	土坑425	(12.8)	-	(14.9)	外)ハケ 内)ケズリ 指圧痕	密 1~2mm砂粒含む	10YR8/6 黄橙	良好	25%	
第48図14	甕	F3	土坑425	(20.6)	-	(5.5)	外)口縁部:ヨコナデの後クシガキ 体部:ハケ 内)口縁部:ヨコナデ、指オサエ 体部:ケズリ	長石・雲母・石英・クサリ 礫	10YR6/3 にぶい、黄橙	良好	口縁部 10%	擬凹線8条
第48図15	鉢	F3	土坑425	14.9	3.0	10.9	外)ハケ 内)ケズリ	密 1~2mm砂粒含む	10YR4/3 にぶい、黄橙	良好	90%	外面スス付着
第48図16	器台	F3	土坑425	-	8.6	(4.2)	外)ハケ 内)ハケ	密	5YR8/4 浅黄橙	良好	60%	
第48図17	甕	E7-8	住居1土坑	(18.0)	-	(5.8)	外)口縁部:ヨコナデの後クシガキ 体部:ハケ 内)口縁部:ヨコナデ、指オサエ 体部:ケズリ	長石・石英・クサリ礫	10YR7/4 にぶい、黄橙	良好	口縁部 16%	擬凹線5条
第48図18	甕	C5	土坑402	(17.2)	-	(8.9)	外)ハケ 内)ハケ ケズリ 指圧痕	密 砂粒含む	10YR8/4 浅黄橙	良好	10%	
第48図19	壺	G2-3	土坑187	16.0	-	7.6	外)ミガキ 内)ケズリ	密	7.5YR8/4 浅黄橙	良好	25%	
第48図20	器台	G2-3	土坑187	-	(16.4)	(11.1)	内)ミガキ	密	7.5YR7/6 橙	良好	脚部 20%	円孔有り
第48図21	甕	D9	p441	(14.0)	-	(9.7)	外)ハケ 擬凹線 内)ハケ ケズリ	密 砂粒含む	7.5YR8/6 浅黄橙	良好	15%	擬凹線8条
第48図22	甕	D9	p441	(16.0)	-	(9.7)	外)擬凹線 内)ケズリ	密 砂粒含む	7.5YR8/4 浅黄橙	良好	20%	擬凹線8条
第48図23	壺	C6	p663	(13.8)	5.0	(21.7)	外)ハケ 内)ケズリ ハケ	密	5YR7/6 橙	良好	50%	
第48図24	高坏	L23	p994	24.2	18.25	(13.8)	外)ミガキ	密	7.5YR8/3 浅黄橙	良好	60%	円孔3ヶ所有り
第49図1	甕	J11	包含層	17.6	-	(17.5)	外)ハケ 内)ケズリ	密 砂粒含む	7.5YR7/4 にぶい、橙	良好	40%	
第49図2	甕	H3	包含層	(18.4)	-	(16.8)	外)ハケ 内)ケズリ	密 砂粒含む	7.5YR7/4 にぶい、橙	良好	20%	
第49図3	甕	E7-8	包含層	16.4	-	(20.2)	外)ハケ 内)ケズリ	密 砂粒含む	10YR8/4 浅黄橙	良好	50%	住居1出土片含む
第49図4	甕	F4	包含層	(16.4)	-	(16.2)	外)ケズリ 内)ハケ	密 砂粒含む	7.5YR8/4 浅黄橙	良好	20%	
第49図5	甕	F2	包含層	23.8	-	(22.8)	外)ハケ 内)ケズリ ハケ	密 砂粒含む	7.5YR8/4 浅黄橙	良好	30%	
第49図6	甕	D2	包含層	(19.0)	-	(20.6)	外)ハケ 内)ケズリ	密 砂粒含む	7.5YR8/4 浅黄橙	良好	15%	
第49図7	甕	C2-3	包含層	(16.6)	-	(25.7)	外)ハケ タタキ 内)ケズリ	密	7.5YR7/6 橙	良好	30%	韓式系土器、穿孔有り
第50図1	甕	L25	包含層	(15.4)	-	(26.1)	外)ハケ 内)ケズリ	密 砂粒含む	7.5YR8/4 浅黄橙	良好	30%	
第50図2	甕	F5-6	包含層	(13.5)	-	(23.4)	外)ハケ 内)ケズリ	密	10YR7/6 明黄橙	良好	60%	
第50図3	甕	L23	包含層	12.1	(1.6)	12.9	外)ハケ 内)ケズリ	密 砂粒含む	7.5YR7/4 にぶい、橙	良好	50%	
第50図4	甕	L24	包含層	11.9	3.0	13.3	外)ハケ 内)ケズリ	密 砂粒含む	7.5YR6/4 にぶい、橙	良好	70%	
第50図5	甕	F4	包含層	(13.4)	-	(8.0)	外)ハケ 内)ケズリ	密	7.5YR6/6 橙	良好	20%	
第50図6	壺	D7	包含層	17.6	-	(20.5)	外)ハケ 内)ケズリ	密 砂粒含む	5YR7/8 橙	良好	20%	
第50図7	壺	F5	包含層	-	3.1	(30.0)	内)ケズリ	密	7.5YR7/6 橙	良好	20%	
第50図8	壺	C3	包含層	8.9	-	7.8	外)ハケ 内)ケズリ	密	10YR6/2 灰黄橙	良好	90%	
第50図9	壺	C7	包含層	(7.3)	-	(6.1)	外)ハケ 内)指圧痕	密 砂粒含む	7.5YR7/4 にぶい、橙	良好	40%	
第50図10	壺	L24	包含層	8.8	-	7.7	外)ハケ 内)ケズリ	密 砂粒含む	10YR8/4 浅黄橙	良好	50%	
第50図11	壺	D2	包含層	(11.4)	-	11.95	外)ハケ 内)ケズリ ハケ	密	7.5YR8/3 浅黄橙	良好	70%	
第50図12	壺	D2	包含層	(10.2)	-	13.7	外)ハケ	密	7.5YR7/6 橙	良好	60%	スス付着
第50図13	壺	H100	包含層	11.0	-	13.65	外)ミガキ 内)ハケ	密 砂粒含む	7.5YR6/6 橙	良好	90%	底部穿孔有り
第50図14	壺	E4-5	包含層	9.6	-	(7.8)	外)ミガキ 擬凹線 内)ミガキ	密	7.5YR5/2 灰褐	良好	20%	擬凹線18条
第51図1	高坏	C7	包含層	(16.7)	10.4	11.25		密	7.5YR8/4 浅黄橙	良好	80%	
第51図2	高坏	B-C4	包含層	(17.5)	-	(10.0)		密	7.5YR8/8 黄橙	良好	50%	
第51図3	高坏	C5	包含層	20.8	13.0	14.05	内)ハケ	密	7.5YR8/4 浅黄橙	良好	80%	
第51図4	蓋	E5	包含層	10.2	-	4.5	外)ミガキ 内)指圧痕	密	2.5Y7/2 灰黄	良好	40%	